

美術科

1. 教育目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

2. 評価の観点及び内容、評価資料

観点	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
内容	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的な良さや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培っている。
評価資料	・作品、ワークシート ・定期考査 など	・作品、ワークシート ・定期考査 など	・作品、ワークシート ・授業観察 など

3. 評価の観点と評定の基準

観点別の評価	評定
各題材3つの観点の評価資料により	全て満点とした総合計点数の
A (80%以上)	90%以上 5
B (50%以上80%未満)	80%以上90%未満 4
C (50%未満)	50%以上80%未満 3
	20%以上50%未満 2
	20%未満 1

令和8年 美術科年間指導計画

	7 学年	8 学年	9 学年
1 学期	<p>○オリエンテーション、「出会って広げよう・図画工作そして美術へ」 ゴッホの「種まく人」を鑑賞する</p> <p>○色について学ぶ 色の三原色、色の対比、色の感じを理解する ポスターカラーの使い方を学ぶ</p> <p>○見て、感じて描く 小石や葉っぱを色鉛筆とポスターカラーで描く</p> <p>○美しい構成と装飾 切り絵でしおりを制作する</p>	<p>○オリエンテーション</p> <p>○絵画技法を学ぶ ポスターカラーを使った様々な絵画技法を身につける</p> <p>○シュルレアリスムを学ぶ シュルレアリスムの画家について学ぶ</p> <p>○私を伝えよう 絵画技法を組み合わせ、自画像を制作する</p>	<p>○オリエンテーション、「ゲルニカ」は語る ピカソの「ゲルニカ」を鑑賞する</p> <p>○彫刻技法を学ぶ 彫刻刀のさまざまな彫り方を身につける</p> <p>○木彫制作 彫刻刀を使い木彫作品を制作する</p> <p>○日本の伝統的な柄 日本の伝統的な柄について学ぶ</p>
2 学期	<p>ポスターの鑑賞 オリンピックのポスターを鑑賞する</p> <p>○楽しく伝える文字のデザイン レタリングの基礎技能を身につける</p> <p>○よく見て描く 鉛筆の技法を学び、身近なモチーフをデッサンする</p>	<p>○今を生きる現代の作家たち 現代の作家たちについて学ぶ</p> <p>○暮らしの中のデザイン 実用的な作品を、デザインを工夫し制作する</p>	<p>○デザイン制作 レイアウトを工夫し、デザイン制作をする</p> <p>○デザインで変える現在と未来 今日や将来においてデザインの果たす役割について考える</p>
3 学期	<p>○材料と対話して 様々な材質のものを構成し、作品を制作する</p> <p>○名画の模写 色や形をよく観察し、正確に写し取る力を身につける</p>	<p>○墨絵制作 墨絵の技法や良さを考え、素材を生かした作品を作れる</p>	<p>○空想絵画の世界 シュルレアリスムなどの手法を使って作品を描く</p>